



令和6年12月26日 発行  
 東京都立しいの木特別支援学校  
 校長 濱渦 孝治  
 担当 古山 武  
 電話 0436-66-2790

**第8号**  
 (学校便り)

### 高等部校内実習を終えて

副校長 遠藤 隼

12月に入り、今年度も残り3か月余りとなりました。卒業後に社会に出る高等部3年生にとっては、卒業まで残りの学校生活を思い残すことなく充実した日々を送ってほしいと願っています。

さて、今月の学校便りでは、本校高等部で行われた校内実習の取組を紹介します。校内実習では、一人一人が目標をもって、図書蔵書登録やPCを使用した事務作業、校内の清掃、軽作業等に取り組みました。活動に取り組むことも大切なことですが、それ自体が目的ではなく、自分自身が役割を果たし、仕事を通して他者の役に立つという気持ちを育むこと、また、作業活動等を通して、達成感や満足感を味わい、意欲や態度の育成につなげていくことを目標に行っています。「作業学習」や「校内実習」という言葉は、特に小学部の児童には、馴染みのあるものではありませんが、学習指導要領では、児童・生徒の一人一人の発達を支える視点から、「キャリア教育の充実」が明示されています。ここでは、児童・生徒自らが日々の学びと将来を関連付け、主体的に学習に取り組めるようにするための、対話や支援の重要性を示しています。そのため、小学部段階から、日々の学校生活の中で、「人の役に立った」「人から感謝された」「人から認められた」等の経験を多く積むことを通して、自己肯定感や自己有用感を育むことができるように取り組んでいます。

「日本理化学工業」というチョークを作っている会社があります。この会社は、日本のチョークのシェア約70%を占めている会社であり、働く社員の約7割が知的障害のある人だそうです。会長の大山泰弘さんは、ある和尚さんから、人の「幸せ」は、人に愛されること、人にほめられること、人の役に立つこと、人から必要とされることの4つであるという話を聞きました。その話を聞いた大山さんは、この4つは働くことによって得られるということ、そして人はみんな幸せになるために働いているということに気付いたそうです。本校では、学校での現在の学びが明日の生活、そして将来につながり、豊かな社会生活を送るために必要な力がつけられるように、日々の授業で児童・生徒の「やってみよう!」「やってみたい!!」という意欲を高める授業づくりに注力して参ります。今後とも御理解と御協力をお願いいたします。

### 笑顔と学びの体験活動プロジェクト～よんぼうウインドアンサンブル～

12月16日(月)に、よんぼうウインドアンサンブルによる木管五重奏演奏会を行いました。今年度は、保護者の方や地域の方をお招きして児童・生徒と一緒に木管楽器の豊かな響きとハーモニーを味わいました。

「木星」や「山の音楽家じゅんばん協奏曲」などを演奏していただき、授業で聴いたことがある曲が演奏されると嬉しそうに聴いていました。体験コーナーでは、「諸人こぞりて」を奏者の方々とティンパニやツリーチャイムなどを鳴らして共演し、「ジングルベル」では指揮棒を持って指揮者体験も行いました。アンコールでは、本年度生徒と共に作った55周年記念ソング「ありがとう」と校歌を演奏していただきました。6年間に渡り本校での演奏会にご尽力いただき、曲紹介の際は涙される場面もあり思い出に残る演奏会となりました。



(文責：北村 僚真)

### 笑顔と学びの体験活動プロジェクト～千葉ホークス～

12月18日(水)に、車いすバスケットボールチーム「千葉ホークス」との交流会を行いました。

第一部では、スラローム体験やシュート体験を行いました。スラローム体験では、選手の動きをよく見ながら車いすに乗って前進したり、選手に後ろから押してもらって、車いす競技独特のスピード感を体感したりすることができました。シュート体験では、選手からボールを受け取り、一緒にシュートすることができました。

第二部では、選手とのリレー対決やミニゲームを行いました。リレー対決では、生徒自身が保健体育の授業の中でコースを考え、十分に練習を重ねて臨みました。結果は、選手の巧みな車いすさばきを前に一歩及ばず、負けてしまいましたが、次のミニゲームでは、拮抗した展開の末、勝利することができました。

第一部、第二部ともに、生徒一人一人が爽やかな汗を流し、笑顔で楽しむことができました。日々の体育や、保健体育の授業で練習した経験が活かされた充実した交流会になりました。(文責：澤口 和洋)

# 1月の予定

1	水	元日
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	冬季休業日終
8	水	始業式
9	木	給食始、身体計測（高等部）
10	金	身体計測（高等部）
11	土	
12	日	
13	月	成人の日
14	火	身体計測（小学部）
15	水	身体計測（中学部）
16	木	避難訓練
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	
22	水	
23	木	
24	金	しいの木集会
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	保護者通信発信日

※保護者会にてお知らせいたしました高等部入学相談日、短縮授業日の日程ですが、高等部入学相談を分教室日程で実施することで決定しましたので再度、変更いたします。

## 【変更後】

2月5日（水）高等部入学相談、全校短縮授業日（13時50分下校）

※2月4日（火）は全校通常授業です。

## 小学部

12月5日に、学校医の歯科医を講師にお招きし、歯科指導を行いました。アニメのバイキンマンが出てくる虫歯ができるまでのお話を聞いたり、歯の模型を使って歯磨きをする真似をしたりしました。みんな、楽しく活動に取り組んでいました。そして、歯ブラシ指導を受ける前に、芋けんぴを食べたのですが、何年も続けて見て下さっている歯科医の先生なので、硬いものの食べ方が上手になったことにも気が付いてくださり、たくさん褒めていただきました。歯ブラシは、力を入れ過ぎずに磨くことを教えていただきました。この日をきっかけに歯ブラシに対して前向きな気持ちで取り組んでいます。自分の歯で美味しいものをずっと食べられるように、歯磨きの習慣づくりを学校でも頑張っていきたいと思います。

（文責：森 澄美子）



## 中学部

中学部では、「車いすバスケット交流会」に向けて、保健体育で車いすバスケットボールの練習を積み重ねてきました。得意な活動のため、自ら車いすに乗り、車いすの操作やボールの扱いを上手に行うなど、自信満々な表情で楽しみながら取り組んでいました。当日はその成果を十分に発揮できるよい機会となりました。

また、12月はしいの木祭の動画発表に向けて、練習や動画撮影を行っています。衣装を身にまとい、指示されたポーズや発表する活動の練習や撮影に励んでおります。2月のしいの木祭の動画発表で生徒達の頑張った姿を見ていただけると幸いです。

今年も中学部の教育活動にご理解とご協力をしてくださり、ありがとうございました。引き続き、充実した教育活動ができるように努めて参りますので、新年もよろしくお願ひ致します。

（文責：山田 麻衣）

## 高等部

12月11日（水）に高等部は、千葉県立楨の実特別支援学校との交流会をおこないました。昨年度と同様に、前半はスポーツ交流で両校混合チームでのポッチャを、後半はお互いに合奏や歌を披露しあいました。本校は「オーハッピーディ」と55周年記念ソングの「ありがとう」の2曲を披露しました。「ありがとう」は楨の実特別支援学校の皆さんにとっては初めて聞く曲でしたが、しっかりと聞き入っていただき、改めていい曲だなと感じました。両校とも少々緊張気味に開始した交流会でしたが、最後の合同ダンス「ジャンボリーミッキー」では、両校入り混じって踊り、笑顔で終えることができました。近隣の学校同士で、お互いに頑張る様子を知る事ができ、とても良い交流となりました。

（文責：古山 武）